

『学校力向上に関する総合実践事業』 コーナーその 4

南が丘小学校 夏休み「子ども朝活」を行いました。

「子ども朝活動」は、次の2点をねらいとしています。

- ①夏季休業中に早起きし、主体的に学習や様々な体験活動に参加することにより、望ましい生活習慣を身に付ける。
- ②異学年での活動や様々な人との触れ合いを通し、助け合いや感謝の気持ちを育む。

今年度は、以下のプログラムのもと活動を行いました。

	7月28日(金)	7月31日(月)	8月1日(火)
8:00	集合		
8:10	○今日の日程確認		
8:30	○ストレッチタイム・朝の運動		
10:30	○課題解決タイム		
11:45	○「尺八体験」 江差町教育委員会 社会教育課 主幹 宮原 浩 氏	○認知症 サポーター養成講座 高齢者疑似体験 江差町地域包括 支援センター	○ダニエル先生と 英語でゲームを 楽しもう 江差町教育委員会
12:00	○振り返りタイム		



「子ども朝活動」を終えて

- 朝活動参加者・・・・・・・・・・5,6年生 19名 (参加率: 70.3%)
- 朝活動参加者の平均起床時刻・・・・・・午前6時29分
- 朝活動参加者の朝食摂取率・・・・・・100%

各体験活動の子どもたちの様子

「尺八体験」

- 「最初はふけなかったけど、ちょっとふけたからうれしかった」
- 「尺八をはじめてふいて、ドキドキしたけど、でもすこしふけてよかった」
- 「前、菊地師匠が、簡単に尺八をふいていたから、『簡単だろう』と思って尺八をやったら、すごく難しかったけど、楽しかった」



「高齢者疑似体験」

「読み聞かせ」で認知症を学びました



- 「おじいちゃん、おばあちゃんの気持ちになれたから、サポートをしたいです」
- 「おじいちゃん、おばあちゃんの体になったら、歩くのが辛かったです。認知症になった人や困っている老人を助けたいです」
- 「おじいちゃんやおばあちゃんが毎日大変なことを知った」

「英語でゲームを楽しもう」

- 「たくさんの英語が話せました」
- 「外国語を使って指示ができてよかったです。少し覚えられてよかったです」
- 「英語が苦手だけど、楽しく話せてよかったです」

